

「大谷石建築巡り」バスツアー

NPO法人 大谷石研究会
理事 佐藤公紀

3月25日は天候に恵まれ「大谷石の建築巡り」には絶好の日でした。今回は市役所都市計画課の主催で、大谷石研究会は案内をサポートする役目でした。参加人数は30数名で、元気なお年寄りが主でした。はじめにカトリック松方峰教会、聖ヨハネ教会と2つの教会を訪れましたが、意外にも訪れるのは初めての方が多く、教会内部を興味深く見学していました。特に構造体が石造では無く、鉄筋コンクリート造である事にとっても驚かれています。その後竹林がある若山農場へと向かいました。竹林散策をしながら「こんな美しい場所が宇都宮にあるのか」と皆



若山農場で若山様による「竹林の講話」

さん驚きつつ、若山社長さんによる「竹林学の講話」を熱心に聞いていました。(都内の有名ホテルの竹林等は此方から出荷されているそうです)。※佐藤健や福山正治、市川海老造等が撮影の為に竹林を訪れたそうです。次に、そこからすぐ近くの西根集落へと向かいました。こちらでは此処の住人である池田光一さんに地名の由来から道の歴史、徳次郎石等の「西根集落歴史学」を講義していただきました。昔はこの集落を通る道が日光街道だったそうです。徳次郎石の古い家屋が連なっていた集落は、訪れる度に少しずつ空き地が増



西根集落で池田光一さんにて「西根集落歴史学」を伺いました

えているのがさびしいです。昼食はいつもの道の駅つつのみやろまんちつく村でした。70分のお昼時間でしたが、少しもの足りなかった人も居たようです。午後は大谷資料館を訪れた後、最後の訪問先である小野口邸へと向かいました。小野口邸では、御当主で当会理事長の小野口さんに「小野口邸に纏わる歴史学」を講義していただきました。咲き始めたばかりの春の花と錦鯉が戯れる池、そして石蔵とのコラボレーションが美しい庭園を満喫して帰路につきました。皆さん大満足だったようです。



小野口理事長による「小野口邸の歴史講話」

宇都宮美術館会館20周年・市制施行120周年記念企画 「石の街うつつのみや展」開催

NPO法人 大谷石研究会
理事 武井貴志

宇都宮美術館では会館20周年・市制施行120周年記念企画として「石の街うつつのみや展」を開催しました。1月7日のオープニングレセプションにはじまり、22日のジャズコンサート「石の街はジャズの街」の講師を務めました(2曲ほど演奏にも参加させてもらいました)。私も、家族、友人を誘って数回、橋本優子学芸員のギャラリートークを狙って1回。同じ展覧会では最大の訪問回数となりました。

みた柱ほど多くを語ってくれませんでした。大谷石とスクラッチレンガで構成された実物の柱は、ライト独特な表現の上に時間が刻印され多くを語ってくれました。ライトが見いだした大谷石の可能性とは、まさにこの時間を表現する素材としての可能性ではなかったかと考えています。

会場で上映されていた大谷石に関するビデオと会場で販売されていた図録は、現時点での大谷石の貴重な記録として、今後広く活用出来る資料となるものです。ビデオの図書館などでの公開や販売が望まれます。

会期中、中央ホールには旧帝国ホテルの柱の2部が設置されていました。同時期大山市の明治村にも訪れ、移築された同ホテルの部を見る機会を得ました。解体された一部を大谷石に似せたプレキャストコンクリートで再現された中央玄関は、空間を理解する手がかりにはなりませんが、美術館で



旧帝国ホテルに設置された大谷石とスクラッチレンガの柱が展示された



オープニングでは佐藤栄一宇都宮市長が挨拶された

大谷石 東西南北

歴史的な街並み神戸を彩る大谷石

(NPO法人 大谷石研究会広報担当 平沼 隆志)

神戸の中心部にある旧外国人居留地は、幕末の神戸開港で外国文化の窓口になった歴史の香りを残す。その一角にある「旧居留地38番館」は1929(昭和4)年に外国銀行の支店として誕生。今でも、有名海外ブランドの店などとして利用されている。



外壁に大谷石が使われていると知り、日曜日に神戸を訪ねた。周囲は買い物や散策の人でにぎやかだった。近寄ると、目の前の壁は同じ凝灰岩でも似て非なる石。地元兵庫県の竜山石のようだ。ビルの上を見たら、ようやく最上階の壁に大谷石を発見した。残念ながら通行人はほとんど気づかないだろう。でも、歴史的な街並みに大谷石はよく似合う。



※「旧居留地38番館」はウィリアム・メレル・ヴォーリズの設計で1929年にシティバンク神戸支店として建設された

更田邦彦理事のご冥福をお祈りします



当会の理事を長年努めていただき、また専門部会では「財団法人建築技術教育普及センター」の助成を受け、旧大谷公会堂で「石の声」シンポジウムを3年間実施するなど、多大な尽力を頂いた更田邦彦さんが、2月15日永眠されました。ここに慎んで哀悼の意を表します。この度、ご友人のみなさ様が呼びかけ人となり、更田さんのかざらない生き方や素顔の冊子「更田邦彦 つく・つなく」を制作されました。ご覧になりたい方は事務局へお申し出ください。

NPO法人 大谷石研究会のホームページ
<http://www.ooyaishi.org/>
コンテンツ盛りだくさん

「大谷石百選 自然美・建築美」(第2版 第1刷発行) 絶賛販売中
A4変形版 148頁 2000円

会員通信

小山市に「海蔵」4号店

NPO法人 大谷石研究会
長谷川博夫

宇都宮市内に居酒屋を三店舗営んでいる海鮮居酒屋「海蔵」様の依頼を受け、初めての「新築店舗」となる建物のデザイン設計及び監理をさせて頂きました。そしてこのほど完成しオープン致しました。これまで宇都宮にある三店舗は、既存の建築物を活用して、内装デザインを主にしています。大谷石の独特な風合いから、入口エントランスや客室、ディスプレイなど、そのイメージに合わせて、フラット加工や割り肌加工を使い分けし、内装壁に使用してきました。もともと、店舗名称の由来する海の蔵の発想で、大谷石と蔵戸の使用は海蔵オーナーの根強い希望と、デザインの相性にも良く使用してきました。

今回の新築店舗のデザインと今までの違いは、外装にも大谷石を使用したことです。張り方を換えたり大きさを变更后、今までの内装の雰囲気をも出し出すよう使用しました。大谷石を使用することにより高級感と言ふより、暖かなイメージに仕上がりました。ぜひ、「新店舗「海蔵」」を見に、小山へお出かけ頂けると幸いです。

